

苫小牧市課題解決型インターンシップ事業企画運営業務
審査要領

令和 7 年 2 月

苫小牧市

1 業務名

苫小牧市課題解決型インターンシップ事業企画運営業務

2 審査、評価及び選定の方法

(1) 選定委員会の設置

企画提案書の審査、評価及び選定は、苫小牧市課題解決型インターンシップ事業企画運営業務受託候補者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）を設置し、選定委員4名の採点により行う。

(2) 審査の流れ

審査は、以下の手順で行う。

審査手順	実施者	審査内容
1. 参加資格審査	事務局	参加資格の有無を確認
2. 書類審査（※）	選定委員会	提案書を基に審査（採点）
3. プレゼンテーション審査 （ヒアリング）	選定委員会	提案内容の事業者プレゼンテーション及び質疑応答（採点）
4. 採点結果の集計	事務局	プレゼンテーション審査の採点結果を集計
5. 受託候補者の特定	選定委員会	採点結果

※参加事業者が4者以上の場合のみ書類審査を実施し、プレゼンテーション審査の対象事業者を3者選定する。参加事業者が3者以下の場合、書類審査は実施せず、プレゼンテーション審査のみ実施とする。

3 書類審査について

ア 書類審査は、本プロポーザルへの参加事業者が4者以上の場合に実施するものとし、参加資格確認通知の送付時（令和7年3月7日）に書類審査の有無を併せて通知する。

イ 提案書（企画提案書・事業費経費参考内訳書）の記載内容を選定委員が採点し、採点結果の上位3者をプレゼンテーション審査の対象とする。

ウ 書類審査の結果は、令和7年3月24日（月）に通知するものとする。

エ 評価項目及び配点は、次ページのとおりとする。

【書類審査の評価項目及び配点】

- 選定委員 4 名の採点結果の合計（30 点×4=120 点満点）で審査を行う。

評価項目	評価内容	配点
1. 会社概要 (所在地・従業員数、事業内容等)	<ul style="list-style-type: none"> • 会社の規模や事業内容から、契約期間において安定した業務の実施が可能か • 支店や営業所の所在地等の状況から、本業務に対し迅速な対応や連絡調整が可能か 	5
2. 業務を実施する運営体制	<ul style="list-style-type: none"> • 責任体制が明確になっているか • 従業員数の規模や組織体制から、本事業の実施に対し十分な人員を確保することが可能か • (専門家の配置状況、業務経験、人数) 	5
3. 業務スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> • 業務量を理解し、適切で現実的な計画を組んでいるか • 周知や広告掲載は効果的なタイミングとなっているか 	5
4. 過去 3 年間の業務実績	<ul style="list-style-type: none"> • 類似した事業の業務受託実績を有しているか 	5
5. 提案書の記載内容	<ul style="list-style-type: none"> • 「提案書作成要領」に定める提案項目が漏れなく記載されているか • 苫小牧市への提案として適切な内容となっているか。創意工夫のある魅力的な提案内容か 	10
合計		30

4 プレゼンテーション審査（ヒアリング）について

- ア ヒアリングは、令和 7 年 3 月 28 日（金）に、苫小牧市役所 9 階会議室にて非公開で行うものとし、開始時間は別途通知する。
- イ ヒアリングは、1 者ずつの呼び込み方式とし、1 者の持ち時間は 30 分以内とする（提案書説明 20 分、質疑応答 10 分を予定）。
- ウ ヒアリングの内容は、提出のあった企画提案書に基づくものとし、資料の追加提出や変更は認めない。
- エ ヒアリングにおいては、企画提案書では説明が難しい点やアピールしたい点について行うこと。この説明においては、プロジェクター及びスクリーンを使用することができる。またプロジェクター及びスクリーンは当市で用意可能だが、その際はあらかじめ担当部署に連絡すること。パソコン等その他機材については提案者が用意すること。
- オ ヒアリングの説明者は補助者を含めて 2 名までとする。
- カ 欠席をした場合は、企画提案書の審査、評価及び選定から除外する。
- キ 選定委員 4 名が評価項目に沿って採点を行い、合計点が最も高い提案者を受託候補者とする
- ク 評価項目及び配点は、次ページのとおりとする。

5 審査結果通知

苫小牧市課題解決型インターンシップ事業企画運営業務に関する公募型プロポーザル実施要領「15 結果の通知・公表」のとおりとする。

【プレゼンテーション審査の評価項目及び配点】

項 目	評価基準
業務遂行能力に関する項目 【配点 20 点】	
(1)運営体制・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・業務遂行にあたり、有効な経験者はいるか ・実施可能なスケジュールか
(2)事業理解・類似事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決型インターンシップについて十分理解しているか ・適切な事業実績があるか
企画提案に関する事項 【配点 80 点】	
(3)事業目標について	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の目標値は適切なものになっているか
(4)受入企業の選定 ・プロジェクトの策定	<ul style="list-style-type: none"> ・募集方法や選定方法について具体的な提案はあるか ・受入企業とインターン生、双方にとって有意義なプロジェクトを策定する工夫あるか
(5)インターン生の募集及び選定	<ul style="list-style-type: none"> ・募集方法や選定方法について具体的な提案あるか
(6)プロジェクトのマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの効果を最大化することができるような工夫あるか
(7)成果報告会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の他企業へ波及するものになっているか
(8)インターン生の生活環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・インターン生が、プロジェクトに専念できる環境整備
(9)そのほか特別な独自提案	<ul style="list-style-type: none"> ・事業効果を高める上で有益な提案であるか ・事業目的に沿った創意工夫のある提案か
(10)見積額の経費内訳の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な価格となっているか